

2018/19 V.LEAGUE Division I MEN 松本大会

VC長野トライデンツ ホーム最終戦を勝利で飾れず

【松本協会副理事長 白澤保久】



VC長野トライデンツ（以下VC長野）のホーム最終試合が2月16日（土）、松本市総合体育館で行われました。

今季からトップリーグ初参戦とあって、これまで1勝と苦しい戦いの続くVC長野が、首位に行くパナソニックパンサーズ（以下パナソニック）をホームに迎えました。

松本市からは坪田明男副市長、（一財）長野県バレーボール協会からは佐藤副会長と竹淵専務理事が観戦に訪れました。

VC長野は、内定選手の池田を先発起用し、途中でケガから復帰した森崎やアルテム・キセレフ、更にはセッターの長田を投入するという総力戦を展開しました。一方のパナソニックは全日本級の好選手を数多く抱え、既に「ファイナル6」への進出を決めており、横綱バレーを展開しました。

現在、最下位ではあるものの、ホーム最終戦でひたむきに戦う姿を見せたいVC長野に対し、パナソニックは第1・第2セットともに終盤の連続得点で抜け出し、セットを連取しました。

しかし、第3セットはVC長野の攻める気持ちが実を結びました。ミスをしてでもサーブで攻め、徐々にパナソニックのレシーブを乱し、最後は森崎の好サーブや小林のスパイクなどで連続得点を奪ってセットを奪取しました。

第4セットに入ってもVC長野はあきらめず、22-24から追いつく粘りを見せるも、最後はパナソニックに力で押し切れられ、29-31で敗れました。

ただ結果的にはセットカウント1-3で敗れはしましたが、リーグ初戦と比べると戦力の向上が見られ、第3レグでは上位のチームにもセットはとれないまでも、ラリーの続く好ゲームが展開できるようになって来ました。アーマツコーチの目指すバレーがチームに浸透してきており、仕事を持ちながらひたむきにプレーする選手達の今後の健闘を期待したいと存じます。



坪田副市長がチームを激励

笹川監督コメント

ホームの大声援で選手を後押しして下さり、本当に感謝です。今日のゲームではサーブからのディフェンスが機能し、有利に進めていくこともできましたが、大事な場面で力が足りなかったです。本日のホーム最終戦、たくさんの方々にお越しいただいて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

尚、試合終了後、ホーム最終戦ということでV C長野はファンとの集いを行いました。又その場で、笹川監督は来季、V C長野を運営する株式会社V C長野クリエイティブスポーツの社長業に専念することが発表され、監督を退任することとなりました。笹川星哉さん、お疲れ様でした。



2018/19 V. LEAGUE Division II MEN

長野☆GaRons 2度目のホームゲームはトヨタに連敗

【須高協会理事長 吉澤康幸】



2月9日（土）・10日（日）、須坂市民体育館に現在首位争いをしているトヨタ自動車サンホークス（以下「トヨタ」）を迎え、今シーズン2度目の長野GaRons（以下「ガロンズ」）のホームゲームが行われました。試合前には和太鼓やチャリーダーのイベントが行われ、華やかな雰囲気の中で始まりました。

第1セット序盤、ガロンズは平田にボールを集めてスタートしましたが、スパイクをミスし不安が過ります。更に強力なサーブやブロックを決められ、なかなかリズムに乗れないまま中盤までに

7-14とされてしまいます。その後、藤井や松橋のスパイク等で反撃するも、15-25でトヨタに先取られました。

第2セット序盤、サービスエースやブロックが決まって6-2と好スタート。その後、お互いに点を取り合って16-15とし、この辺りで連続得点と行きたいところでしたが、トヨタも粘ってなかなか点が離れずに23-21でトヨタがタイム。最後は藤井がスパイクを決め、25-22でセットをもぎ取りました。

第3セット、序盤は互角の展開が続きましたが、8-12でガロンズは1回目のタイムアウト。嫌な流れを止めたいところでしたが、トヨタの巧みな攻撃に19-25でセットを失いました。



第4セット、5－8までは互いに攻め合ってまずまずの展開で中盤に進み、7－12でタイムアウトを取ってから反撃したいところでしたが、良い流れが来ないまま徐々に点を離されて17－25で失い、セットカウント1－3でトヨタに敗れました。

翌10日（日）、第1セットの立ち上がり、いきなりスパイクをシャットされて前日の嫌な展開になるかと思いきや、序盤は互いに得点し合って6－8。その後はミスが続いて6－11と差が広がり、中盤には藤井・松橋の強烈なスパイクで何度か見せ場を作りましたが、トヨタの攻撃に17－25で押し切られました。

第2セット序盤はお互いに得点し合うも、トヨタの強烈なドライブサーブやスパイクに苦しめられ、5－8から徐々に点を離されてしまいました。中盤、浅岡を起用して流れを変えようとしたのですが、なかなか差が縮まらないまま13－25でセットを失いました。



第3セットは序盤からミスが続き、0－4で一度目のタイムアウト。その後もトヨタの多彩な攻撃に手を焼き、中盤には北沢・清水を投入して流れを何とか変えようとしたのですが、5－16と一方的な展開に。終盤、ガロンズも粘りを見せましたが、結局10－25に封じられ、0－3のストレート負けでした。

尚、2月末には3度目のホームゲームが開催されます。その際には大いに奮起することを期待したいと存じます。

第19回北信越高等学校新人バレーボール大会

男子は松本国際が県勢対決を制し、女子は都市大塩尻が優勝

2月9日（土）・10日（日）、新潟県のリージョンプラザ上越をメイン会場に標記大会が開催されました。

男子は、本県1位の松本国際高校（以下「松本国際」）が、準決勝第2セットで石川県1位の石川県立工業高校の粘りに遭ったものの、何とかデュースで振り切って決勝進出。本県2位の岡谷工業高校（以下「岡工」）も、福井県1位の福井工業大学附属福井高校との準々決勝で、第3セット29－27という激闘を制して勢いに乗り、準決勝では富山第一高校を危なげなく下して決勝進出。決勝戦は長野県勢同士の戦いとなりました。

その決勝戦は、波に乗る岡工を松本国際がしっかり受け止め、序盤は一進一退の攻防が続きましたが、最後はサーブが走った松本国際が足の痙攣でスタメンを欠いた岡工を振り切って連覇を果たしました。

【松本国際高等学校男子バレーボール部監督 壬生裕之】

2月に新潟県上越市で行われた新人戦北信越大会は、2年連続優勝という結果を残し、今年度の大会は全て終了しました。連覇を成し遂げることができたことに、先ずは胸をなでおろしております。このような結果を残すことができましたのも、日頃より支えて下さる全ての方々のお力添えがあったればこそと考えております。本当にありがとうございました。

まだ新チームとしてスタートしたばかりです。課題も沢山ありますが、来年度の全国大会で良い結果が残せるよう選手とともに頑張っていきたいと思っております。

日頃より本校男子バレーボール部を支えて下さるすべての皆様、今後ともよろしくお願い致します。



一方の女子は、出場した4校が全て初戦を突破しましたが、準々決勝を勝ち上がって2日目に残ったのは東京都市大学塩尻高校（以下「都市大塩尻」）のみ。その都市大塩尻は、準決勝の富山第一高校（富山県1位）戦第1セットこそ20点取られたものの、後は20点未満に抑えて決勝に進出。

決勝戦も、勢いに乗って勝ち上がって来た福井県4位の北陸高校を14点・18点と危なげなく押さえ込み、見事3年ぶりに優勝カップを手中にしました。

「第19回北信越高等学校新人バレーボール大会に参加して」

【東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部監督 今井一仁】



れました。また質の低いミスもあり、連続失点を許す場面もありました。インターハイに向けて課題を明確にしてチーム力を高めるべく精進して参りたいと存じます

大会に際しまして、一般財団法人長野県バレーボール協会様、長野県高体連バレーボール専門部の皆様を始め、多くの方々から御声援賜りましたことに心から御礼を申し上げ、報告に代えさせていただきます。

過日行われました、北信越高等学校新人バレーボール大会におきまして、3年ぶり5回目の優勝をすることができました。応援誠にありがとうございました。春高バレーの反省をふまえて、テーマを明確にして試合に臨みましたが、試合内容としては決して満足のいくものではありませんでした。レセプションやディグの精度が低く、コンビが使えずに単調な攻めになる場面が多く見ら



女子は大町クラブが苦闘を制して優勝 男子は予選が成立せず

【長野県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

2月3日（日）に上田市丸子総合体育館において標記大会が開催されました。

この大会は、北信越クラブバレーボール連盟が9人制クラブチーム強化のため開催する北信越大会の県予選会として、本年度で13回目を迎えました。

より多くのチームに試合の機会を与えたいという趣旨で、今年度より北信越大会の枠が各県男女各3チーム（開催県はプラス1、前年度北信越大会優勝チームは推薦）の出場権が与えられることとなりました。

男子は「OKAYA」が前年度優勝であったため北信越大会へ推薦され、今大会には「大町クラブ」と「駒ヶ根クラブ」の申し込みがありましたが、急な体調不良等により選手の人数が不足した駒ヶ根クラブが棄権となり予選は行われませんでした。

女子は5チームの参加で、決勝はここまで2試合5セットを戦って勝ち上がった「大町クラブ」と1試合2セットを勝ち上がった「六文銭」という昨年と同じチームの対決となりました。

1セット目は疲れの見える大町クラブに対し、序盤からリードした六文銭がそのままセットを奪いました。2セット目に入るとサーブの走った大町クラブが速攻、ブロックを絡めてセットを取り返しました。3セット目の序盤は一進一退でしたが、大町クラブがリードを広げ、中盤には六文銭が追いつくという展開でしたが、最後は三澤のサーブから相手のサーブレシーブを崩した大町クラブが苦しい試合を制し、優勝を飾りました。

北信越大会は3月23日（土）・24日（日）に大町市で開催されます。男子は3チーム、女子は補填枠もあり、予選に参加した5チームが出場します。

開催地県ということで役員の皆様、出場されるチームの皆様のご協力で大会を成功させるとともに、出場チームには北信越の頂点を目指して頑張ってもらいたいと存じます。



六文銭



大町クラブ

平成30年度全国指導普及委員長研修会 報告

【県指導普及委員長 三村公二】

2月23日（土）～24日（日）に大阪にて開催されたJVA主催の全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議・研修会に参加してまいりました。

研修会では、今年度の活動報告や来年度の活動計画に加えて、日本バレーボール協会の方針についての確認がありました。又、「2020 東京オリンピックおよび Beyond2020」というテーマで全日本男女の強化委員長とユニバシアード男女監督によるキーノートレクチャーが行われました。

JVA の指導普及委員会の組織については、昨年は組織が改編されましたが、現組織が非常にわかりにくくなっていることから、指導普及委員会を従来の形に戻し、その中に指導者養成委員会が含まれ、他に競技者拡大委員会と生涯スポーツ普及委員会がある形になります。今後の活動については、今までの活動と大きく変わることはないと思われます。

又、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の改定が行われます。それに伴う専門科目の新カリキュラムについての説明もありました。指導者養成に関わっては、資格の失効が多くあることも懸念です。現在の資格も継続されていきますので、資格の更新を忘れないようよろしくお願い致します。

2 日目は「叱らなくても指導はできる」という演題で、過去に J リーグの市原や京都で若年層へのサッカーの普及活動に尽力されてきた大阪体育大学の池上正先生の講演会が行われました。体罰やハラスメントが後を絶たないスポーツ界において、指導者が変わらなければ何も変わらないのだというお話を聞かせて頂きました。日本のスポーツ界においてとても重要な講演で、大変参考になるお話でした。

2020 年東京オリンピックに向けた活動はもちろんですが、その後の日本のバレーボール界が先細りすることのないように一丸となって進んでいくことが必要であり、我々の課題であると強く感じました。

公益法人長野県体育協会が公益法人長野県スポーツ協会に

【県協会専務理事 竹淵光雄】

公益法人長野県体育協会平成30年度臨時評議員会が、2月20日（水）午後2時より長野県スポーツ会館2階会議室において開催されました。

議題は、平成29年9月から検討されてきた協会の名称変更についてでした。平成30年9月の理事会の決定により、公益法人長野県体育協会は、平成31年4月1日より名称を公益法人長野県スポーツ協会に改正することになり、それに伴う定款の変更や諸規則の改定について提案、審議され、可決されました。

平成 30 年度総務委員会を開催

【県総務委員長 内山政則】

平成 30 年度総務委員会を2月16日（土）、塩尻市の健康ランドにて開催致しました。今回は事務局主事が引き継ぎ後、初めての参加となりました。

内容は、大会フローの確認、決算書作成申し合わせ、大会予算等について委員長から説明を致しました。次年度を迎える中での開催であり、反省に基づく建設的な質疑・意見等多く出され、充実した会議となりました。この中で、大会会場や県協会主催大会の役員一覧表を必ず県協会に報告するようにする等、共通理解をしました。また協会ニュースのボリュームが多く、試合の解説は少なくしながら工夫が出来ないかとの意見がありました。

事務局からは、大会収支予算報告の際、監査する時に出来る限り分かり易く記載することや領収書の管理についての依頼がありました。新しい主事の堀内さんからは「何も分からずに失礼な点もあるかと思いますが、率直に指摘頂きながら現場の皆様と共に協会発展に尽くしたいと思います」とのコメントを頂きました。

最後に、当委員会は地味で縁の下で支える内容が多い訳ですが、長野県バレーボール協会発展のため更なる尽力をとのまとめを専務理事にして頂きました。

今年度第2回目の競技委員会を開催しました

【県競技副委員長 吉川 豊】

2月2日（土）、競技委員会が松本市に於いて行われました（坂田競技委員長は全国競技委員長会議のため不在）。平成30年度の競技大会の反省、平成31年度の競技委員会事業計画案、及び競技日程等を中心に話し合いを行いました。

特に皆様方が心配されております新型ミカサボールの扱いについて確認を致しました。FIVB 主催大会については2019年度から使用開始。JVA 主催国内大会及び予選会（6人制・9人制）は、2019年度は従来のミカサボール使用。2020年度より新型ミカサボールを使用するとのJVAから通達されましたのでよろしくお願い致します。尚、各カテゴリーに於いて取り扱いに差が出ると思われますので、その点もご了承下さい。又、ミカサ、モルテンのボール使用割当につきましては従来通り、奇数年（2019年度）は男子：モルテン、女子：ミカサ。偶数年（2020年度）は男子：ミカサ、女子：モルテンです。



さて、かねてより競技委員会からお願いして参りましたが、去る1月27日（日）のエプソン杯長野県中学校バレーボール選抜優勝大会（ホワイトリング）に於きまして、床材の一部が腹部に刺さるという事故が発生しました（幸い大事には至りませんでした）。各種大会での危機管理及びコンプライアンスには細心の注意を払って頂きますよう再度お願い致します。

平成31年度は、長野市開催の2019Wcupを含め大会が目白押しです。各種大会が成功裏に執り行えますよう皆様方のご協力をお願い致します。

ビーチ少年種別開始及び2027国体に向けて～県強化委員会を開催！

【県強化副委員長 村上里志】

去る2月17日（日）、塩尻市において委員11名出席の下で強化委員会を開催致しました。今回は各担当からの報告事項を簡潔にし、以下の課題への対応について多くの時間費やしました。

1. 来年度からのビーチ少年種別（高校生）開始にあたって強化と更なる普及策
2. 2027国体に向けての選手発掘と育成

ビーチ少年については、高体連専門組織を通じて選手の募集をすること、強化指定校を設けること、指導育成面においてはビーチ連盟と更に連携を深めること、普及活動として従来高校生をターゲットとしていた駒ヶ根カップ大会を中学生も対象とすること等が検討されました。



2027長野国体対応は、強化委員会に選手発掘担当（小学生対象）を設け、強化候補選手をリストアップすること、小中高の一貫指導について連携を強化して2027年までの強化ロードマップ（時間軸、段階的な目標設定、指導体制、担当等を明確化）を作成すること等が検討されました。

最後に、来年度を2027長野国体強化元年として、新たな気持ちでスタートすることを確認して閉会と致しました。

第2回指導普及委員会を開催しました

【県指導普及委員長 三村公二】

2月11日（月）、今年度2回目の指導普及委員会を長野市において開催致しました。

協議内容は、

- ① 平成30年度の事業報告と中間決算報告
- ② 平成31年度事業計画
- ③ 第7回13地区対抗6人制選手権大会（U12の部）運営について

でした。

協議の中では、各地区や加盟団体での取り組み等についても協議されました。今年度第7回を迎えている13地区対抗戦について、指導普及委員会の事業として成果が見られるのかしっかりと検証していく必要性や、小学生（低学年から中学年）や中学生からバレーを始めた生徒を対象にした事業についても今後取り組む必要があることを確認しました。更に、今後も競技者拡大や指導者養成に向けて、各地区や加盟団体とともに取り組んで行くことも確認をしました。

2018 Progress Plan 「スポーツ栄養学」講習会を開催

【県強化委員 木下久資】

2月23日（土）・24日（日）に、安曇野市立三郷中学校他で行われた第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会長野県男子2次選考会（兼 長野県男子選抜第2次強化練習会）の中で、上條治子先生＜鰐魚国総本社 管理栄養士 公認スポーツ栄養士＞を講師にお迎えし、「スポーツ栄養学」を行いました。上條先生は、数年前から長野県中学男子選抜チームへの支援を継続的に行ってくださっている力強いチームサポーターの一人です。



ジュニア世代の選手たちへ、栄養学の基本から将来に生きる身体作りを日常生活の場面に例えながら分かりやすくお話を頂きました。又、中学生にもできる食事の工夫などについても学ぶ良い機会となりました。会場には、中学1・2年生の選手約100名と保護者約90名、そして選考委員が30名余り集まり、計約220名が熱心に聞き入っていました。

本講習会から Progress Plan（長野県指導者講習会）2019年の活動が始まりました。本年も各講習会へ数多くの指導者に御参加頂き、本事業が更に充実・発展したものになるようお願い申し上げます。

2 月 試 合 結 果

- ☆ モルテン杯第 13 回北信越クラブバレーボール 9 人制選手権大会長野県予選会
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H31.2.3molten_9culb.pdf

- ☆ 第 19 回北信越高等学校新人バレーボール大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H31.2.8hokusinetu_kokosinjin.pdf

- ☆ 第 3 回ソフトバレー・フリーフェスティバル
http://nagano-vb.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H31.2.16%20soft_sporec_zenkoku.pdf

3 月 スケジュール

3/2(土)	第 9 回全国 6 人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会 女子決勝リーグ長野大会	(東御市)
3/2(土)	正・副会長、専務・常務理事、委員長会議	(東御市)
3/2(土)～3(日)	日本バレーボール協会 全国競技委員長・加盟団体競技委員長会議 研修会	(東京都)
3/3(日)	第 13 回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会	(長野市)
3/9(土)	長野県バレーボール協会 第 84 回理事会・第 16 回代表委員総会	(辰野町)
3/10(日)	長野県 13 地区対抗 6 人制バレーボール選手権大会 (U12)	(伊那市)
3/12(火)	日本バレーボール協会 評議員懇談会	(東京都)
3/16(土)～17(日)	菅公学生服杯 第 17 回北信越中学新人バレーボール優勝大会	(福井県)
3/23(土)	日本バレーボール協会 審判規則委員会 合同会議・全国審判委員長会議	(東京都)
3/23(土)～24(日)	モルテン杯 第 13 回北信越クラブ 9 人制選手権大会	(大町市)
3/24(日)	日本バレーボール協会 全国 6 人制審判講習会	(東京都)
3/25(月)	長野県体育協会 平成 30 年度 第 4 回総務専門委員会	(長野市)
3/25(月)	長野県体育協会 平成 30 年度 長野県スポーツ振興功績者 表彰式	(長野市)
3/31(日)	日本バレーボール協会 全国ビーチバレーボール講習会	(神奈川県)